

## いのちと心を育む運動

推進強化月間(7月～9月)

山田町のちと心を育む連絡協議会では、7月から9月を「山田町のちと心を育む運動」の推進強化月間として、児童・生徒による生活改善標語の作成や町

内駅舎周辺などで啓発のぼり掲揚に取り組みます。今年度からは、啓発のぼりを一新し、町内の児童・生徒を「やまだの子」として地域ぐるみで見守り、育てていこうという意識を高めていきます。

私たちの「いのちと心」を育む愛のひと声につながります。地域や家庭の中で登下校時の子どもたちを見守り、温かいあいさつの声かけに取り組みしましょう。



### 子どもたちの生活を見守り

### 心を育てる思いやりのあいさつを

## 本町出身の オリンピック選手



よしお 義雄さん  
(飯岡・72)

山田高校ボート部への入部をきっかけにボート競技を始める。ボート競技日本代表として、23歳の時にミュンヘンオリンピック(昭和47年)に出場。現在は、山田町体育協会会長を務める。

■オリンピック出場のおい出  
実業団からの誘いもありましたが、地方で活動する人間でも結果が残せることを示したいと思い、実業団には所属せずに町内で働きながら練習をしていました。遠方の大会に出場するため、全国各地のボート仲間に出会ってボートを運んでもらったり、家に泊まらせてもらったりと、たくさんの方に助けられました。どんな時でも見てくれる人、応援してくれる人がいると感じました。

■町民の皆さんへメッセージ  
自分にとって「自分には無かったもの」「自分が気づかなかったこと」に出会ったのが、ボートでした。誰にでも「自分に合うもの」があります。「自分に勉強でも自分が一生懸命やらないと見つけられません。子どもたちからいろいろなることを体験してほしいと思います。」

## 鯨峰爽やかに

町内小・中学校で給食が始まって一年が過ぎました。町のホームページには献立表や給食の写真を載せています。どうぞご覧になってください▼私が子どもの頃の昼食は、家庭により①弁当を持っていく②地元の商店でパンを買う③家に帰って食べる——と3つの方法に分かれていました▼小学校時代のある日、お昼休みを目前にして突然テスト用紙が配られたことがありました。しかも、時間内には到底終わらない問題量です。案の定4時間目のチャイムが鳴っても終わらず、提出した時にはお昼時間をだいぶ過ぎていました。走って家に帰り、大急ぎでお昼ご飯を詰め込んで戻ったことを半世紀経った今でも覚えています。食べ物のおいしさは何とやらです▼教師になってから4時間目終わりのチャイムだけは何かあっても守るようにしていました。そのときの思いが根底にあるのかもしれない。

教育長 佐々木 茂人